

八街商工会議所 景気動向調査(R3.4月～6月)結果について

当所では、小規模事業者の景気動向調査を実施し、対象事業所30事業所中28事業所から回答いただきました。

(製造業5社、建設業6社、卸売業3社、小売業6社、飲食業4社、サービス業4社)

この調査は経営発達支援事業の一環として実施するもので、調査期間は4月～6月の期間で、3か月ごとに調査を行うものです。

なお、調査結果は、小規模事業者が持続的発展を遂げるために、

経営環境を正しく把握する必要があり、経済を取り巻く環境に加え、地域の経済動向に関する情報を提供するものです。

売上高 前年同月比

	回答数
増加	4
不変	11
減少	13

向こう3か月の先行き見通し

	回答数
増加	2
不変	12
減少	14

採算 前年同月比

	回答数
好転	4
不変	12
悪化	12

向こう3か月の先行き見通し

	回答数
好転	3
不変	10
悪化	15

仕入単価 前年同月比

	回答数
下落	1
不変	10
上昇	17

向こう3か月の先行き見通し

	回答数
下落	0
不変	14
上昇	14

販売単価 前年同月比

	回答数
上昇	1
不変	20
下落	7

向こう3か月の先行き見通し

	回答数
上昇	1
不変	22
下落	5

従業員 前年同月比

	回答数
不足	3
不変	25
過剰	0

向こう3か月の先行き見通し

	回答数
不足	3
不変	25
過剰	0

業況 前年同月比

	回答数
好転	2
不変	10
悪化	16

向こう3か月の先行き見通し

	回答数
好転	0
不変	13
悪化	15

資金繰り 前年同月比

	回答数
好転	2
不変	19
悪化	7

向こう3か月の先行き見通し

	回答数
好転	0
不変	21
悪化	7

<付帯調査結果>

1.新型コロナウイルスによる経営へのマイナスの影響について、選択肢から1つお選びください。

- 1:影響が続いている。
- 2:経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある。
- 3:影響はない。
- 4:分からない。

選択肢番号	回答数
1	12
2	7
3	6
4	3

2.貴社の資金繰りの状況について、当てはまるものを選択肢からお選びください。(複数選択可)

- 1:金融機関への相談を行い、既往債務の借換を行った。
- 2:金融機関への相談を行い、希望する額・条件での新規融資を受けた。
- 3:金融機関への相談を行ったが、融資希望額より少ない額または短期間での返済となった。
- 4:金融機関への相談を行ったが、融資・条件変更を受けられなかった。
- 5:金融機関への相談を行っている、または審査待ちの状況。
- 6:資金繰りに不安はあるが、現時点では相談はしていない。
- 7:資金繰りが厳しく、廃業を検討している。
- 8:資金相談は現時点で必要ない。

選択肢番号	回答数
1	1
2	7
3	0
4	0
5	0
6	9
7	0
8	11

3.従業員の雇用状況についてお伺いします。

3-1.採用活動の実施状況について

- 1:採用活動を実施しなかった。
- 2:従業員を採用した。
- 3:従業員が減少した。
- 4:募集したが、採用できなかった。

選択肢番号	回答数
1	23
2	3
3	0
4	2

3-2.従業員を採用した方にお伺いします。

採用計画に対する充足状況について、当てはまるものを選択肢から1つお選びください。

- 1:計画した人数どおりに採用できた。
- 2:採用できたが、計画した人数には満たなかった。

選択肢番号	回答数
1	2
2	1

<コメント欄>

- ◎コロナの影響よりも1昨年の台風15号による農業施設被害からの復旧特需が非常に大きく、
今年度も残工事があったために今期の業績は良いです。しかし、来期以降は不安です(小売業)
- ◎コロナワクチンの接種が進み、経済活動がコロナ禍前の状態に早く戻ることを期待しています(小売業)
- ◎時短協力金(第2～4弾)の入金があり、それを切りくずして営業している。
感染防止対策をとっている店舗と、出来ていない店舗を調査、指導して欲しい(飲食業)
- ◎給付金、加算金のお陰で資金繰りは何とかなっている。
店主(夫婦共に)高齢のため、運転免許返納及び病気がちであることから、
閉店は、そんなに先では無いと考えている。コロナウイルス感染拡大について店側は万全を期しており、
拡大はむしろ利用者のマナーの問題だと思う(飲食業)
- ◎仕入単価が上昇し先行き不透明(建設業)
- ◎衛生面で非常に神経を使っている(サービス業)
- ◎高齢者の顧客の来店数が激減した(サービス業)

